

## 「『東北電力<sup>ナウ</sup>NOW』 CSR レポート 2009」の概要

1. 名 称 「『東北電力<sup>ナウ</sup>NOW』 CSR レポート 2009」
2. 発行部数 16,000部
3. 主な配布先 株主・投資家、CSR 専門家、希望されるお客さま 等
4. 構 成
  - (1) 会社概要・編集方針・社長挨拶
  - (2) クローズアップ
  - (3) 東北電力のCSR
  - (4) 当社CSR活動方針に掲げた5つの「重点活動事項（以下①～⑤）」毎に取り組みを掲載
    - ①社会の一員として信頼され続けるために
    - ②地域の方々から信頼され続けるために
    - ③お客さまから信頼され続けるために
    - ④株主・投資家から信頼され続けるために
    - ⑤従業員との関わり
  - (5) 第三者意見
  - (6) 持続可能性報告ガイドライン（GRI）2006対照表
5. 主な掲載内容（抜粋）

### ■ トップコミットメント（P3～4）

「東北電力グループ経営ビジョン2020～地域と共に～」のもと、多様なお客さまニーズに適うエネルギーサービスの提供を通じ、事業基盤である東北地域（東北6県および新潟県）の皆さまと共に成長し続ける企業を目指す社長のメッセージを掲載。

### ■ クローズアップ（特集 P5-14）

当社の事業活動のなかでの重要性と、社会の皆さまの関心の度合いがともに高いと思われる以下の事項に関する取り組みを掲載。

- ・「東北電力グループ経営ビジョン2020～地域と共に～」について（P5～6）
- ・「女川原子力発電所3号機におけるプルサーマルの推進」について（P7～8）
- ・「原子力発電所品質保証と耐震安全性向上に向けた取り組み」について（P9～10）
- ・「低炭素社会実現に向けた取り組み」について（P11～13）
- ・「岩手・宮城内陸地震における電力復旧までの道のり」について（P14）

### ■ 東北電力のCSR(P15～22)

当社のCSR活動の概要、ガバナンス体制、内部統制、リスク管理、行動・安全に関わる指針等を掲載。

■社会の一員として信頼され続けるために（P23～48）

企業として遵守すべき企業倫理・法令遵守の徹底、個人情報保護を含む情報セキュリティ確保に向けた取り組みに加え、さらなる安全・安心な原子力発電所に向けた取り組みや地域の皆さまから関心の高まっている地球温暖化対策をはじめ、当社の環境経営全般について掲載。

■地域の方々から信頼され続けるために（P49～54）

創業以来からの「地域の繁栄なくして当社の発展なし」という基本的な考えに基づき、CSR活動方針の力点として取り組んでいる地域協調活動、地域活性化支援活動等について掲載。

■お客さまから信頼され続けるために（P55～66）

東北地域を事業基盤とし地域と共に成長し続けるために、これまで進めてきた経営基盤強化に向けた取り組み、電源のベストミックスと安定した燃料調達に向けた取り組み、停電の少ない電力供給に向けた取り組み、業務品質向上に向けた取り組み、環境性能の高いヒートポンプ機器をはじめ、お客さまに喜ばれるエネルギーサービス提供に向けた取り組み等について掲載。

■株主・投資家から信頼され続けるために（P67～68）

平成20年度の決算概要、株式情報、IR活動概要について掲載。

■従業員との関わり（P69～76）

事業基盤の源泉ともいえる人材の確保・育成・活用・活性化および働きやすい職場風土づくりに向けた取り組みなどについて掲載。

■第三者意見…東北大学大学院 経済学研究科 准教授 高浦康有 氏（P77）

当社のCSRレポートについて、企業倫理およびCSRの専門家である東北大学大学院 経済学研究科 准教授 高浦康有 氏から、CSR報告書の信頼性評価の国際的基準であるAA1000保証基準の諸原則（重要性・完全性・応答性）に基づき評価と提言を掲載。

以 上